

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37306	介護総合実習 Facility care services practice	木村 典子	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
介護施設である老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、訪問介護、通所介護、通所リハビリの現場実習をして、介護について深めることをします。現場の施設の指導者の指示のもと、高齢者に介護を実施します。次に、実習の振り返りを通し、学んだことの再確認と学習の継続の必要性を理解していきます。						
学修内容			到達目標			
① 実習で高齢者を受け持ち、介護を実施する。			① 受け持ち高齢者の特徴を理解し、基本的な日常生活援助ができる。			
② 実習介護施設の機能と役割について現場実習を通して学ぶ。			② 実習施設の老人保健施設・認知症高齢者グループホームなどの機能と役割を理解する。			
③ 介護職の仕事について現場実習を通して学ぶ。			③ 実習を通して、介護職の仕事について理解する。			
④ 介護職のキャリアパスについて学ぶ。			④ 介護職のキャリアパスについて理解する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識についてさらに深めて理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。				
	働きかけ力					
	実行力	目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	実習を踏まえて、介護について、探求することができる				
	計画力					
	創造力	課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。				
チームで働く力	発信力	実習体験をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。				
	傾聴力	グループのメンバーが体験したことを相槌を打ちながら聞き、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など実習に支障をきたす行動はしない。 実習前中後の報告ができる。 実習に爪は切り、長髪は縛り、動きやすい服装である。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:長寿社会開発センター介護職員初任者研修テキスト 一 ～ 三巻 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:介護職員初任者						
学修上の助言			受講生とのルール			
介護に関する情報を意図的に収集してください。聞きなれ言葉は主体的に調べて、実習に臨むこと。			●授業を欠席したら、再実習となる。正当な理由のない限り、再実習はおこなわない。欠席はしないこと。 実習で指導者評価で、60点以下の場合には不合格とする。 不合格は再実習しない。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	実習が終了した時点で、実習で学んだこと発表してもらいます。3か所の実習施設がありますので、3回行ってもらいます。受け持った利用者の介護、実習施設の特徴について資料を作成して、わかりやすく、発表してください。 10点×3
		②	✓	
		③	✓	
		④		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性) ・必要な知識についてさらに深めて理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できている。 (実行力) ・目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 (課題発見力) ・実習を踏まえて、介護について、探求することができている。 (創造力) ・課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 (発信力) ・実習体験をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) ・グループのメンバーが体験したことを相槌を打ちながら聞き、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができている。 (規律性) ・無断欠席、遅刻、私語など実習に支障をきたす行動はしない。 ・実習前中後の報告ができている。 ・実習に爪は切り、長髪は縛り、動きやすい服装である。
		②		
		③		
		④		
その他	60	①	✓	実習施設の指導者からの評価をもとに、総合的に行う。実習要綱に添付されている実習評価票をもとに行う。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
実習目標に基づき、実習ができる。実習施設の指導者評価が80点以上である。知識・技術確認試験の正解率が80%以上である。実習で学んだことをわかりやすい資料を作成し、発表することができる。	実習目標に基づき、実習ができる。実習施設の指導者評価が70点以上である。知識・技術確認試験の正解率が70%以上である。実習で学んだことを、伝えるために事前に準備して、発表することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	介護実習事前指導	演習	介護施設に行くにあたり、必要な書類作成できる	(復習)実習事前訪問の計画を立てる。	30	主体性
2週 /	介護実習事前指導	演習	実習記録の書き方を理解する。	(復習)実習要綱を読み直し、実習をイメージする。	30	主体性
3週 /	介護実習 施設サービス 1	実習	指導者の指示のもと、実習できる。	(復習)実習を振り返り、実習記録を書く	30	主体性
4週 /	介護実習 施設サービス 2	実習	指導者の指示のもと、実習できる。	(復習)実習を振り返り、実習記録を書く	30	主体性
5週 /	介護実習 施設サービス 3	実習	指導者の指示のもと、実習できる。	(復習)実習を振り返り、実習記録を書く。発表用の資料を作成する。	30	主体性
6週 /	施設サービスの実習のまとめ	実習	実習で学んだことのわかりやすく発表できる。	(復習)実習評価をもとに自己の課題をみつける	30	主体性、発信力
7週 /	介護実習 居宅サービス 1	実習	指導者の指示のもと、実習できる。	(復習)実習を振り返り、実習記録を書く	30	主体性
8週 /	介護実習 居宅サービス 2	実習	指導者の指示のもと、実習できる。	(復習)実習を振り返り、実習記録を書く	30	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	介護実習 居宅サービス3	実習	指導者の指示のもと、実習 できる。	(復習)実習を振り返り、 実習記録を書く	30	主体性
10週 /	居宅サービスの実習のまとめ	実習	実習で学んだことのわかり やすく発表できる。	(復習)実習評価をもと に自己の課題をみつ ける	30	主体性、 発信力
11週 /	就業についての備え 継続的な研修	講義・演習	介護職として働くための心 構え、継続的な研修につ いて説明し	(復習)キャリアパスに 関する資料を読む	30	主体性
12週 /	介護初任者研修を通しての学び の確認 知識1 前期分	演習	介護初任者研修を通して の知識の振り返りができ る。	(復習)試験の振り返り をする。	30	主体性
13週 /	介護初任者研修を通しての学び の確認 知識2 後期分	演習	介護初任者研修を通して の知識の振り返りができ る。	(復習)試験の振り返り をする。	30	主体性
14週 /	介護初任者研修を通しての学び の確認 技術1	演習	介護初任者研修を通して の技術の振り返りができ る。移動	(復習)試験の振り返り をする。	30	主体性
15週 /	介護初任者研修を通しての学び の確認 技術2	演習	介護初任者研修を通して の知識の振り返りができ る。環境	(復習)試験の振り返り をする。	30	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力